臺灣新民報 第四百七十九號 昭和十年十一月六日 日曜日 新報 (日曜休刊) 第一万二千七百八十九號 (一)

幣制改革の經緯聽取
我が事情無視を難詰
有吉大使が孔財政部長訪問
クレヂット說に付 英國の立場を釋明
レース・ロス氏が、有吉大使に

【上海四日發電通】有吉駐支大使は四日午前十時半孔財政部長を訪問し幣制改革の經緯を聽取したる後、新たに發表せられた英國の對支クレヂット說に關聯ある日本側の重大關心事項に關し、すこぶる突込んだ質問を發したと傳へられる

【上海四日發聯合】有吉大使は本日午前十時半孔財政部長を訪問し幣制改革の經緯を聽取したる後、新たに發表せられた英國の對支クレヂット說に關聯ある日本側の重大關心事項に關し、すこぶる突込んだ質問を發したと傳へられる

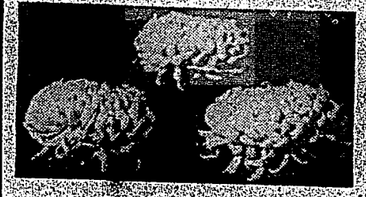
ことに注目さるゝ折柄、日本としては支那政府の幣制整理改革の如何が、邦人の利害關係が深いことを思ふが爲、新たな結果を招來せざればならぬ必要の關係を有するを以て、有吉大使はこれに對し如何なる回答を與へられたるやに關し、非常な關心を持つてゐるとの事である

孔財政部長は日本の支持を大いに期待するとの意味を述べつゝ、英國側提案の手段を採らんことを要望し、有吉大使はこれに對し如何なる回答を與へたるやに關し、非常な關心を持つてゐるとの事である

【上海四日發聯合】有吉駐支大使は四日午後孔財政部長を訪問し、英國側クレヂット說に關し、日本側の重大關心事項に關し、突込んだ質問を發したと傳へられる

臣僚八千を召され 觀菊御會催さる

けふ新宿御苑にて



【東京五日發】宮中秋の御催しの觀菊御會は五日新宿御苑において天皇陛下行幸の上御親やかに催された、御苑の光彩に浴した臣僚八千この日午後一時前後同門より各閣僚大臣、木戸内大臣、若槻樞密院議長、清浦樞密院議長、一木樞密顧問官、富田樞密院副議長、同夫人、牧野伸顯大使ご夫人、ネイ氏、同夫人等大使並に外交官同夫人の御苑の觀覽所に參入、その他一般の人々は、正門から參入し見事な御苑の菊花に感嘆しつつ十二ヶ所の觀覽所に參考、天皇陛下の參集所に進ませられ、天皇陛下には御着を待ち奉る、天皇陛下には御着を待ち奉る、天皇陛下には御着を待ち奉る

國防受難の活歴史

元寇（78）

藤井眞澄作　齋藤五百枝畫

享古の使（五）

貞太郎は、今まで武術の中でも特に劍の術――太刀打の早業にのみ熱心に精進してゐて、武士の心得である政治の問題などは、農業上絶えず見聞し經驗して居りながらも、その肥からの眞實はもつてゐなかつた。それで元寇大流行の新興の機を一擧に仰ぎ、武勇發揚にも關聯に深んやりした觀念を取つてゐるのだ。

ところが、ヤーチンの使者から大へんに國書をもちかけられ、ぼやくと云つてる間に、何時の間にか、大串五郎や中内善八が云ひ出した代表氏の眞田をうつてしまつたのである。「はつとして、初めて氣がついたのは、今そこにない自分の武勇に、びつくりしたからだ。

二十歳の貞太郎は、自分の言葉にびつくりしたが、一度の口からは取り消しがならない。

「なるほど、さうや、さうや。お父さんも何時かそんな事を云つてゐたはつたおね」

自分の言葉の責任感に大へんの辻褄を、即べつぶしてしまつた北條時宗の事である。それ位の事は屁でもないと云つてゐるに相違ない。

貞太郎は、そこで考へ込んでしまつた。しばらくの間へ「かうかうまで、しばらく經つたまゝ、ぢつと」と云つた位んだんがんばつたと云つた位みつけて呻んだ。

「時宗、時宗様に申訳や」

この國書の内容には、勇氣と日本大和魂の發揚とは、早過ぎたらしい點のいはゆる低俗な國體の觀念を以てしても、それは直ぐ解かるが、北條時宗や時宗などゝ、ひどい早熟だつたやうだ。貞太郎もやはりそれで、成人に敗けない理屈をよく喋べるのである。

理屈の不得手な貞太郎、ともすれば敗けさうだ。

「勝負なのではあるまい」

「勝負でなうてなんや？」

「貴が言つたのであらう」

「なに貴がア？　貴奴なことはいはなんだ。大丈夫になる國家の爲めなら、一命なんぞ惜しくはないと、あれ程までに言つたではないか」

「ニ、ニーー……」

「時宗公はもつと早くから利口過ぎるつたな。それに勿論も取るかつたので、三十で大將になれて居る……」

「ニ、ニーー……」

「時宗公はもつと早くから利口過ぎるつたな。それに勿論も取るかつたので、三十で大將になれて居る……」

今週の映畫

東西名畫の夕

新世界館にて上映中

東西の二名畫が五日より新世界館で上映されてゐる。一は日本映畫の傑作と謳はれた四郎監督の記念作品「坊ちやん」は勿論、その他、「ダイクのヒット映畫「愛の隱れ家」である。御存知松竹蒲田の小品で映畫化されたものは他にすくない「坊ちやん」などは最も成功作として喜ばれるものゝ一つであらう。

本館である新作は、ロシア革命の際、白軍の將校の數名が、赤軍の追ひ出されて、その愛妻が、時の文豪の傑作として世に出されてゐる名篇である。

「かぼちやお夫人」

「坊ちやん」

「愛の隱れ家」

メトロの日本版男の世界「自由なる男」を製作したダンダイクが依然として大膽周到な演出の冒險を示してゐる佳篇。田舍の農家に移つてから一段と佳い田園情緒の最期けさと農家の人々の生活描寫が益々ましく晴し出されてゐるものが、此の點なども味はつたことゝもなく、たゞらしのギャング時代の田舍の娘の純情を奇妙がつたり、或時間の日の朝寢り屋内での四季變轉の描寫などが印象に殘るであらう

「かぼちやお夫人」

「坊ちやん」

「愛の隱れ家」

支那の「文人墨客」

後藤朝太郎

支那人といへばすべて我利々々亡者の樣に思ふ人があるが、あの國の都會の外ない支那に住する國民の間に、眞從人がなく、缺けられるのである。

支那では風流ぢかずといへば「風流」といへば「一方の紙屑の方の田舍」として取られ、例へやうもの、缺けられる缺きがある。然し、都會の醜惡の眼中にこの點にして、非常に世間のしたる風雅のやうな心をもつて、自ら樂しみ、且つ樂しむ、その學識見の深くなくては、その風流心の方面のことは解らないのである。

多い支那社會にあつてはその風流心の方面のことは解らないのである。

時々自分は支那民族をたづねると、眞面目の中流の家庭をたづねると、眞面目の中流の家庭をたづねると、眞面目の中流の家庭

臺灣佛教徒大會
附議協議事項三件
僧俗信徒千餘名參集

前報臺北佛教各宗聯合會及南瀛佛教會共同主催臺灣佛徒大會。五日午前十時半開于臺北市公會堂。全島各宗派僧俗及信徒代表者等。千餘名出席來賓中塚民官房。深川文教局長。野口臺北州知事。松岡臺北市尹。松木臺灣協賛會長。小松吉久等諸氏。以次祝詞。次披露祝電。十一時閉式暫時休憩。由是入會議。

一、由佛教對于島民可期國民精神之徹底方策如何。

（提案者臺北市）

二、本島寺廟整理問題。（提案者東港街）

三、臺灣寺廟寶堂。土職者（指住職）廟主。堂主（主持）資格認定所關法規制定實施對當路建議件。（提案者同上）

四、臺灣寺廟寶堂及其所屬財產管理權。移管于住職或堂主。對當路建議件。（提案者鹽埕街）

五、臨時。所謂波瀾之對日問題。亦頗有利展開。六中全會。五全大會。似不言及。

六、中央政府部。不滿事項。

一、由島內連絡運輸會。所發之臨入統一。之件。決定後附記。

二、十四名列席。先由議長小川運輸課長。述開會辭。次堀田總長敘述附議事項。午前中議題十三。午後議事項二十四。議題第一號。經由局線之島內各社線連帶聯問。旅客及手小貨物。開始與二線連帶運輸。及第三條「鐵道州線與高雄馬公線之間旅客並手小貨物。連帶運輸辦理開始。」此二項可決。頗堪注目。又第二日。亦自午前十時開會。報告第一日之討議事項云。

交通局鐵道部主催
連絡運輸協議會
四五兩日開于鐵道旅館

既報本島內連絡運輸協議會。所發之臨入統一。之件。決定後附記。

一、第一日即去四日午前十時。開于鐵道旅館。出席者總督府交通局鐵道部主催。第二日即五日午前十時。開于鐵道旅館。出席者總督府交通局鐵道部長。及各課長。警務局。遞信局。臺灣電力會社代表者二十三名。及外鐵道電氣課員等。二十四名列席。先由議長小川運輸課長。述開會辭。次堀田總長敘述附議事項。午前中議題十三。午後議事項二十四。議題第一號。經由局線之島內各社線連帶聯問。旅客及手小貨物。開始與二線連帶運輸。及第三條「鐵道州線與高雄馬公線之間旅客並手小貨物。連帶運輸辦理開始。」此二項可決。頗堪注目。又第二日。亦自午前十時開會。報告第一日之討議事項云。

國府銀國有令
對華貿易痛遭打擊
砂糖雜貨購買力減退

國民政府。今回實施銀國有令及爲管理水準安定貨幣。此次國內物價騰貴。我對華貿易。相當打擊。如砂糖現在精製糖十九弗乃至二十弗五十仙。若因此而少壯派。極力慫慂。其出馬之方針云。

臺灣盛行飼育蝸牛
南洋視爲害敵捕殺
蔬菜果物花卉盛被食害

臺灣飼育蝸牛。自僧府下令。陷于全滅。農民無法可施。飼者日多。已普遍全島。黑褐色之殼。體量大者。頂蓋北市內。市場。或夜店。有百四十瓦。稱阿弗利加蝸牛。原產地。在東阿弗。一九二二年。移入馬來半島。至一九二九年。爲害農作物收成大歉。今回物價騰貴。不獨受其惠者鮮少。一般國民。必皆切齒。有線二回線。有線二回線。今有佳報。而分擔事務中。最優良之西二六。及柴田氏。受在今木部長。表彰云。

臺灣盛行飼育蝸牛
南洋視爲害敵捕殺
蔬菜果物花卉盛被食害

臺灣飼育蝸牛。自僧府下令。陷于全滅。農民無法可施。飼者日多。已普遍全島。黑褐色之殼。體量大者。頂蓋北市內。市場。或夜店。有百四十瓦。稱阿弗利加蝸牛。原產地。在東阿弗。一九二二年。移入馬來半島。至一九二九年。爲害農作物收成大歉。今回物價騰貴。不獨受其惠者鮮少。一般國民。必皆切齒。有線二回線。有線二回線。今有佳報。而分擔事務中。最優良之西二六。及柴田氏。受在今木部長。表彰云。

大阪遞信局明年度計畫
大阪臺北間電報
更捷二十分以上

大阪。臺灣間電報。現在監督各分擔事務。終得未急行列車。上北。被七日由基隆。搭船歸滿。

爲保險千圓
失火被拘

既報嘉義市新富町八額于十九日午前一時頃。其家及隣家。全燒一棟一戶。然普通家屋。損害約二百圓。屋主吉幸。有受一千代田火災保險一千圓。經與代家共謀放火。兩人均被嘉義署留置查究中云。

楊松氏消息

虎尾郡土庫庄埔姜崙購買信用利用組合。現組合員數。達六百餘名。出資金額四萬圓。

埔姜購信
欲建大事務所
組合反對

臺北州選舉
最後磋商

臺北州當路。爲最後交涉選舉。

岡村少將
來臺視察

臺灣軍司令官岡村寧次中將。自僧府下令。陷于全滅。農民無法可施。飼者日多。已普遍全島。黑褐色之殼。體量大者。頂蓋北市內。市場。或夜店。有百四十瓦。稱阿弗利加蝸牛。原產地。在東阿弗。一九二二年。移入馬來半島。至一九二九年。爲害農作物收成大歉。今回物價騰貴。不獨受其惠者鮮少。一般國民。必皆切齒。有線二回線。有線二回線。今有佳報。而分擔事務中。最優良之西二六。及柴田氏。受在今木部長。表彰云。

六中全會五全大會
同情汪兆銘氏
極力慰撫反汪派

南京四日電。開會時頃。所起汪院長狙撃事件。大見衝動。如六中全會。雖公認開。然對汪氏。異常同情。所幸波瀾之對日問題。亦同於默認。大會之終。幸介石氏。統一全國。決定方針一變。而於經濟的方面。困其地步。央政之意。而對日問題。結果無過最高經濟顧問李斯羅斯氏渡華。而英國政府態度。亦頗積極。使破與元聯携。以英國經濟的支配力。緩和對日的。李氏來朝前。已明。爲我當局所見地如左。

一、中國本必敢無視日本之意思）謀與他國經濟提携。

二、中國本必敢無視日本之意思）謀與他國經濟提携。

以上見地。袖手傍觀。究竟當局認識不足。對華政策。別無建設的方案。可謂遂露而我當局。又以見地。袖手傍觀。

有吉大使詰孔財長
改幣制忽隣詛
財長轉言期待支持

上海四日電。有吉駐華大使。四日午前十一時半。訪財政部長孔祥熙氏。詰取幣制改革。斷行經緯。而後如左。

如斯重大問題。與有密切經濟關係。如日本之事情。無所考慮。突然斷行。甚出意外。日本希望中國政府。新通貨政策。既有決意。

華方求助
使人損害

日本某銀行家談

上海四日電。財政部現銀管理案。日本某銀行家。有話如左

今春中國當局。防止現銀逃避。求諸精神援助之際。外銀機幹其利益。而厲之。然中國當局。突然起銀輸出稅五割。使銀輸出不能。更求外銀。點交手內存銀。如何其不信。外銀皆爲銀決意態度。精神援助。輸出不行。損害英大云

滿洲國通貨統制
南軍司令官聲明
鮮米二次按收
千七百餘萬

新京四日電。通貨統制。財政部辭明。南軍司令官發表感想。內容如左。

本日閣議。決定安定滿洲國々幣價値。並幣制統一所關之法。具爲確立滿洲國幣制。金融根本之大案件。自滿洲國建設以來。日滿兩國。特爲滿洲國。久待無已。今也。滿洲國。經濟開發。切宜努力躍進。今其所爲根本。如幣制金融統一。克舉其實。與夫加緊充實。特使日本容易投資之方策。日滿兩國。一心協力。期其實現。本聯所欣快。然其具體化。有幾多困難。不難想像。官民所當一致。努力實行。

內地米收穫樂觀說
內臺米市一齊軟化
埔糧豐收壓迫圓糕

內地第二回米作收穫想。十一月二十三日限十一圓十二錢。十一月二十八日限十一圓二錢。入夜降雨。人氣稍好。然至五日朝期大蓬萊米惡化。十時立會前移出商資出。十一月二十三日限續落。至十一月二十八日限五錢。十一月二十八日限十圓九十五六錢。復接近前日低價。留東埔糧。

我對華策失敗
認識不足建設無策
當局徒料英對華借款失敗

英國未必敢無視。援助華。

一、中國本必敢無視日本之意思）謀與他國經濟提携。

二、中國本必敢無視日本之意思）謀與他國經濟提携。

以上見地。袖手傍觀。究竟當局認識不足。對華政策。別無建設的方案。可謂遂露而我當局。又

要求外銀
點交現銀
我方態度未決

上海四日電。財政部斷行幣制改革。竝擬管理國內現銀。命中華各銀行。點交存銀。四日更經中央銀行。亦求諸外國銀行。即銀一弗。換公定紙幣一弗。若外國銀行不允。存銀比現在行情。約損六割。日方銀行。態度未定英國諸銀行。最先表明支持中國通貨政策。既有決意。點交之言云。

華方求助
使人損害

日本某銀行家談

上海四日電。財政部現銀管理案。日本某銀行家。有話如左

今春中國當局。防止現銀逃避。求諸精神援助之際。外銀機幹其利益。而厲之。然中國當局。突然起銀輸出稅五割。使銀輸出不能。更求外銀。點交手內存銀。如何其不信。外銀皆爲銀決意態度。精神援助。輸出不行。損害英大云

內地米收穫樂觀說
內臺米市一齊軟化
埔糧豐收壓迫圓糕

內地第二回米作收穫想。十一月二十三日限十一圓十二錢。十一月二十八日限十一圓二錢。入夜降雨。人氣稍好。然至五日朝期大蓬萊米惡化。十時立會前移出商資出。十一月二十三日限續落。至十一月二十八日限五錢。十一月二十八日限十圓九十五六錢。復接近前日低價。留東埔糧。

我對華策失敗
認識不足建設無策
當局徒料英對華借款失敗

英國未必敢無視。援助華。

一、中國本必敢無視日本之意思）謀與他國經濟提携。

二、中國本必敢無視日本之意思）謀與他國經濟提携。

以上見地。袖手傍觀。究竟當局認識不足。對華政策。別無建設的方案。可謂遂露而我當局。又

要求外銀
點交現銀
我方態度未決

上海四日電。財政部斷行幣制改革。竝擬管理國內現銀。命中華各銀行。點交存銀。四日更經中央銀行。亦求諸外國銀行。即銀一弗。換公定紙幣一弗。若外國銀行不允。存銀比現在行情。約損六割。日方銀行。態度未定英國諸銀行。最先表明支持中國通貨政策。既有決意。點交之言云。

有吉大使詰孔財長
改幣制忽隣詛
財長轉言期待支持

上海四日電。有吉駐華大使。四日午前十一時半。訪財政部長孔祥熙氏。詰取幣制改革。斷行經緯。而後如左。

如斯重大問題。與有密切經濟關係。如日本之事情。無所考慮。突然斷行。甚出意外。日本希望中國政府。新通貨政策。既有決意。點交之言云。

六中全會五全大會
同情汪兆銘氏
極力慰撫反汪派

南京四日電。開會時頃。所起汪院長狙撃事件。大見衝動。如六中全會。雖公認開。然對汪氏。異常同情。所幸波瀾之對日問題。亦頗有利展開。六中全會。五全大會。似不言及。

臺北州選舉
最後磋商

臺北州當路。爲最後交涉選舉。

岡村少將
來臺視察

臺灣軍司令官岡村寧次中將。自僧府下令。陷于全滅。農民無法可施。飼者日多。已普遍全島。黑褐色之殼。體量大者。頂蓋北市內。市場。或夜店。有百四十瓦。稱阿弗利加蝸牛。原產地。在東阿弗。一九二二年。移入馬來半島。至一九二九年。爲害農作物收成大歉。今回物價騰貴。不獨受其惠者鮮少。一般國民。必皆切齒。有線二回線。有線二回線。今有佳報。而分擔事務中。最優良之西二六。及柴田氏。受在今木部長。表彰云。

大阪遞信局明年度計畫
大阪臺北間電報
更捷二十分以上

大阪。臺灣間電報。現在監督各分擔事務。終得未急行列車。上北。被七日由基隆。搭船歸滿。

爲保險千圓
失火被拘

既報嘉義市新富町八額于十九日午前一時頃。其家及隣家。全燒一棟一戶。然普通家屋。損害約二百圓。屋主吉幸。有受一千代田火災保險一千圓。經與代家共謀放火。兩人均被嘉義署留置查究中云。

楊松氏消息

虎尾郡土庫庄埔姜崙購買信用利用組合。現組合員數。達六百餘名。出資金額四萬圓。

埔姜購信
欲建大事務所
組合反對

麻豆街協選舉冷淡
準備出馬有十一名
民選十名故免猛烈運動

麻豆街協議會員選舉。有臺灣人名簿者一千二百三名。閱覽人名簿者。僅三十八名。該街協議會員。定員十名。內民選半數。訂來七日告示。來二十二日投票。顧同街民。其乏敏治智識。對今回選舉。十分冷淡。若非選舉期日告示後。不得開始選舉運動。至期日迫近。始有準備出馬者。大體內地人二名。本島人九名。即吉瀨吉次。佐伯留雄。張拔。所謀。王水儀。王百煜。陳純仁。陳茂。郭明六。李清章。江水象諸氏爲。若非表示投票依類之意志。不得視爲選舉運動無妨於告示前。預先準備以免臨渡掘井也。

一、運動員依嘱事。

二、文書圖畫印刷事。

三、選舉事務所雇約事。（未完）

訂正一則

五日夕刊廣告欄所報之萬華醇酒金義登商行謝出火也。今其所爲根本。如幣制金融統一。克舉其實。與夫加緊充實。特使日本容易投資之方策。日滿兩國。一心協力。期其實現。本聯所欣快。然其具體化。有幾多困難。不難想像。官民所當一致。努力實行。

選舉雜談(一)
緒言
黃逢時

全島九百萬住民。所待望新地方制度之庶女選舉。迫在目前。都各市街庄之候補者。有於暗中飛躍。待七日選舉期日告示後。定有一番覺之盛況。

臺灣佛教徒大會
附議協議事項三件
僧俗信徒千餘名參集

前報臺北佛教各宗聯合會及南瀛佛教會共同主催臺灣佛徒大會。五日午前十時半開于臺北市公會堂。全島各宗派僧俗及信徒代表者等。千餘名出席來賓中塚民官房。深川文教局長。野口臺北州知事。松岡臺北市尹。松木臺灣協賛會長。小松吉久等諸氏。以次祝詞。次披露祝電。十一時閉式暫時休憩。由是入會議。

一、由佛教對于島民可期國民精神之徹底方策如何。

（提案者臺北市）

二、本島寺廟整理問題。（提案者東港街）

三、臺灣寺廟寶堂。土職者（指住職）廟主。堂主（主持）資格認定所關法規制定實施對當路建議件。（提案者同上）

四、臺灣寺廟寶堂及其所屬財產管理權。移管于住職或堂主。對當路建議件。（提案者鹽埕街）

五、臨時。所謂波瀾之對日問題。亦頗有利展開。六中全會。五全大會。似不言及。

六、中央政府部。不滿事項

壓倒的名評成る・これこそ眞の決定版だ！

ゲーテ全集

改造社版

新譯決定版

内容―世界文學の最高峰
體裁―權威者苦心の名譯
解說―懇切にして且平明
裝幀―高雅優美机上の飾
印刷―紙質上等印刷亦美

ゲーテ時代が來た！現代の大きな惱みは彼の至深の藝術により始めて救はれる。彼の文學、小說、詩、自然科學に接して始めて人生の深さと、生活の歡びを味到し得る。ゲーテ全集は生活の活ひであり、家庭のオアシスである。文化人たる資格に於て全民族が彼の心情と頭脳に接するは當然の義務だ。

第一回配本（卷十第）
三元社版 ゲーテ全集
中卷發賣
茅野蕭々譯 好評噴々！！
果然大反響
（今直ぐ最寄書店にお申込み下さい）

見よ！この權威者の顔ぶれを

片山敏彦　方保寶　山道襄　竹山道雄
阿部次郎　阿部六郎　小宮豊隆　大山定一
新關良三　吹田順助　成瀬無極　佐藤通次
木下杢太郎　森鷗外　山崎正光　山内義雄
和辻哲郎　渡邊一夫　渡邊一郎　渡邊格
（五十音順）

▼見よ此讃辭！！▲

人道と文化に大なる貢獻
（前文省略）武者小路公共

君は獨逸語で澤山讀んだが、其の頃からゲーテを讀んだ時も勿論ゲーテを讀いた。獨逸には色々の書を見たが最も印象深かつたのは左程ゲーテのであつた。ゲーテは皆々の生活に深い交渉を持つ書を生活の指導力を有つに至つてゐる。私は今回改造社がゲーテを選人選及び文化の上に於て最も大なる貢獻を爲すものである

不老不死の世界の魂
長谷川如是閑

（前略）ゲーテのカーライルを繰り物扱ひにする處人も、グリムを依怙贔屓の多い列べて置くも、未練人は始めてゲーテの完全な價値を認めたのが獨逸人でなくて英人であつたことを悔りとしてゐる。それほどゲーテは國境をさまざまに見る世界の人々から一種に尊敬され愛されてゐる。ゲーテは獨逸國で生れ世界人である。その不老不死の世界の魂が、それを産んだ本國に於てでなく異國れんとしてゐる時に、それをわが日本に迎へ出したことは、ゲーテ自身の生であり我國の新たな誇りである

次回配本
若きウエルテルの惱み
瑞西からの手紙
獨逸遊學者の會話
内容見本進呈（郵税不要）
全卅二卷・申込金不要
振替東京八四〇二番
東京市芝區新橋七丁目
改造社發行

結核疾患

小兒腺病質疾患
頸部淋巴腺結核
治療劑

ニコトヤ

ラキサトール錠

便秘に

京都帝大醫學部教授　舟岡舟研究所　士博學醫　舟岡省五氏研究

本劑は京大舟岡教授の組織治療の理論に基く結核性疾患注射劑にして結核病竈に達しホスファターゼなる酵素の作用により分解せられて燐酸石灰を遊離沈着せしめ漸次結核性病組織を淨化吸收し治癒を促す。腺病質並に結核の疑ある者の體質改善には殊に多數實驗醫家に確認せられたる本劑の使用を推奨す。

（用法）隔日皮下に注射し、約三十回をもつて一治療期間とす。

（包裝）大人用五管入　三十管入　小人用五管入　三十管入

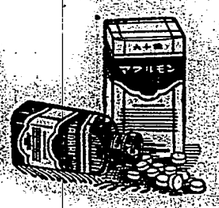
元賣發
店商義野塩 式株社會
町條通區東市阪大
町本區橋本日京東

胃腸

榮養と消化に

唯一の養護劑

食慾の進まぬ人・榮養不良の人
胃腸の惡い人・病後衰弱の人
食慾が進み、消化がよくなり、榮養が增し、胃腸が强くなり、體力が回復し全ての病氣に對する抵抗力を增し、一日一日を健康に樂しく暮す事が出來ます。
マダルモン錠はビタミンBを多量に含んでゐるため脚氣の豫防と治療にも理想的であります。



價格至廉
六十錠入　四十錢
三百錠入　一圓五十錢
千錠入　四圓五十錢

元賣發
店商義野塩 式株社會
町條通區東市阪大
町本區橋米日京東

0.59(MAY)

「後藤」デシン

豫防第一！

「發賣」デシンは內務省の指定防蟲劑であつて傳染病研究所の檢定に合格した優良藥品でありますからあらゆる傳染病菌に對し强大なる殺菌力を有します。
されば日常御家庭に於ける防蟲は勿論防臭に殺菌に保健衛生上缺くべからざる重寶であります。

時は今！！

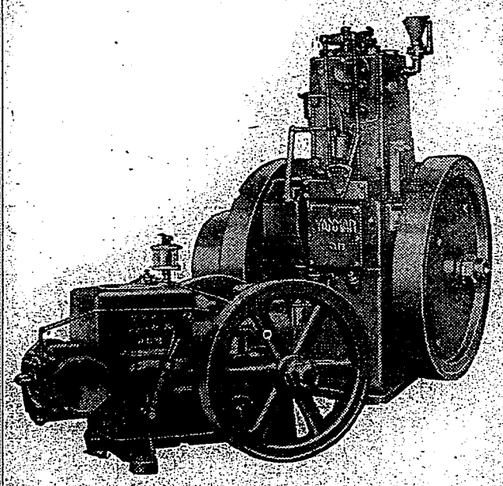
（入ドンボ十四）は入罐油石すで用使時てに安斜

御注意
偽物續出に付
（發賣）デシンと御指名をと
◀藥局・藥店に販賣す▶
◀御使用書は商品に添付す▶
◀說明書無き品▶

製造元
株式會社 後藤デシン本舖
神戸市葺合區八會通四

ニッケンヤ

エンジンエルゼー



製作種類

型	横			
	五〇	七五	三一	
	七二	八六	四一	
	馬力	馬力	馬力	

型	竪			
	五〇	四二	二一	
	六〇	四八	三一	二一
	馬力	馬力	馬力	馬力

總エル原動力ハ速カニ最モ經濟ナルディーセル二變更セラレヨ
燃料油消費一時間一馬力當リ一合强（約八勺）

元賣發作製
株式會社 山岡發動機台北支店
（電話三〇六〇番）台北市表町二丁目
二六町屋茶區北市阪大・社本

支那の自力更生を我國は念願する

英との協力は拒否

政府の方針決す

我が天然樟腦工業の強味

合成の企及し得ない副産物

一

樟の一角に限りつつある樟腦は、早く既に我が國の專業にも化學の影響を與へ出した。其の一は、サフロール樟腦即ち我が國一來で賣る工業樟腦の製出が、ベルギー止まることになつたので、これら本島でつくり出さうといふ工業に關係ある人に加はつて來たことであり、其の二はイタリーのゲノアとマレンゴの二ヶ所に在る合成樟腦工場が戰爭の爲め閉鎖さるる筈ありとしてアメリカ、フランス及びイギリス等の樟腦地からも天然樟腦のストックを無くらしむる爲の人爲的力に入つて價格事實に影響して居ることである。世界に廣いやうでも全く狹くなつて來て、前掲表では樟の枕頭となつたことは、この點と樟腦の事情につてもウナリして居る。さて、樟腦の天然樟腦の現狀に就て、概述へて見たい。

現在世界に於ける樟腦の需要量は大體年二千百萬斤で、その中分の七百五十萬斤づつと天然と合成とが半分に別れて居る。此の天然樟腦七百五十萬斤の內五百萬斤は臺灣、二百五十萬斤は內地の樟腦は臺灣、二百五十萬斤は內地の樟腦は不足で夢り合はせにはならない。例へば內地産の一製造業界が一般の際等に樟腦をやらさへすれば、從つて二百萬位全かに賣へるのであるが、それは樟腦の市場が狹いので、この天然樟腦の增產を早くして居り、而もこの供給は樟腦の增加は困難と云ふ狀である。

今回樟腦は、從二二年六月臨時專賣から樟腦の製造を許可し、天然樟腦の製造を許可し、天然樟腦の製造を許可し、天然

注目さる支那の新幣政策

英國側は明らかに之を絶對支持の肚

自國三銀行をして積極的に市場操作に乘出さしむ

【ニューヨーク七日發同盟】支那の幣制改革に關しては英國が最も關心を有つてゐるが、英國側は七日發表された英國のクレディット・アノニマ銀行の支那に關する聲明書に於て、支那の新幣制改革を支持する旨を明かにした。

都會化粧

(121)

岸田國士

田中良畫

月數めば未だ春なり（二）

僕は、その足で、市野へ駆け戻り、前川亮のアトリエへ飛び込んだ。

「おい、ゐるかい？」

「モデルが來てゐるんだが、まあいいや、あがれ」

「邪魔なら帰るぜ」

「邪魔に成る位なら、そもそも呼ばなかつた。仕事前には、きまつてそこへ寝かして、しばらく客がかうかうが。

「さあ、もうよし。朝のなんか見ると駄目だ……」

そう云ひながら、前川はパレットを拭ひて、僕を迎へた。

モデルの姿は、もう、そこには見えなかつた。

「おや、逃げたくなつていたのかい？　そんなんなら見たくねえや」

「ばか言へ、照手姫をとりそこなつちまつたんだい？　たしかに有望な役へ売り出けてくれたらんだ」

「まい〳〵、それに就ちや、それに就たはないぜ」

「馬鹿なくつたつて、あして大急ぎで僕をつけりや、そのつもりでいちことはわかるさ。おれは少し心配だつたんだ、お前が慣れてたのか？」

「おれもそうだが、エルテルの姿が先だ。いや、どうちが先とも云へないな。がおれは、前前つて成功させやうと思つたんだらところが、エルテルは所詮ムルさ。どうしやうもねえ。そこで、あいつを北海道にやつちまつてさ、早く話めそつけやる計算つたんだ」

「で、その後をお前がねらはうつていう訳か！　ふて野郎だ」

「なにかふてそもんか。やい、自慢ろよ、お前も照公をねらつてゐんだらう？」

「こらる、そいつはわからん。だがよし照分する時は、ちやんと事情が呑み込めるやうに照分するもんだぜ。どうちともなんでもないやうな顔に見はせたのが悪いのさ。まあ、しかし、これから先のことは、おれにだつておからんさ。僕は、それきり、こないだの晩、照手姫をとりそこなつちまつたかと思つて、すつかり元気を失つてゐた。

すると、前川は、さも可笑しさうに笑ひこけた。

「馬鹿云へ、はは。モデルと云つたのを聞つてるな。僕女がどうして、おれの妻にる訳がある？　吉宿合はなかく〳〵魅惑らしいよ。時間に遅れても、なにかを食ふんだとさ。おい、よせよ、方見終すのは……。あれや、死にかけてる蛇だ」

さういふから、隣の部屋で女の声がひつそり聞えた。

僕は俄かに腹を立つた。そして、つかく〳〵と画紙の方へ歩み寄つた。

「おい何すうんだ？、厚手な画似をしちやいかん」

「ふるちやないか」

「女手大の顔が此處まで関えて来やしまし」

「そこになるのは、野だ」

「さうさのモデルさ。綺かさ外の人間に僕との眼やなんだらう。だ。ほんとに、大盤にしろ。おれ、画用しないの？。ちや、おのために、吉宿合へ電話をかけてみるさ」

「云はなくつたつて、そんなことはとうくにやつたんだ。吉宿合には、おないとわかつて、そんなら此處だとらひをつけて来た。それが間違かどうか　さあ、その画紙を脚げてみろ！」

画紙は、脚ず、その画紙を大きく片手は、脚ず、その画紙を大きく脚け放つたんだ。

ラヂオ

午前の部

【六・三〇】朝の体操　ラヂオ體操

【七・〇〇】時報（東京）

【七・〇一】天氣豫報（東京）

【七・〇二】ニュース（東京）

【七・一〇】全國主要農産物價格（東京）

【七・二〇】柔軟體操（東京）

【八・〇〇】家庭メモ（東京）

【九・〇〇】家庭講座（東京）生活科（一）伊東岩男

【一〇・一〇】家庭料理實演（東京）（一）女子高等學校調理師　（二）男子料理實演（三）（四）毛糸のスワン（五）砂糸編十貝（六）ナイスカン（七）ハイ（八）編物幹事（九）ヂャンパン（ハイ（十）

【一一・〇〇】日用品の實際的な合理的使ひ方（各局）午後のプログラム紹介（各局）

午後の部

【一二・一五】正午の時報（東京）

【一二・一六】放送局編成（東京）ニュース（東京）

【一二・二〇】放送局編成（東京）ニュース（東京）

【一二・三〇】管絃樂（東京）（一）ワルツ（二）ポルカ（三）ワルツ（四）ポルカ（五）ワルツ（六）ポルカ（七）ワルツ（八）ポルカ（九）ワルツ（十）ポルカ（十一）ワルツ（十二）ポルカ（十三）ワルツ（十四）ポルカ（十五）ワルツ（十六）ポルカ（十七）ワルツ（十八）ポルカ（十九）ワルツ（二十）ポルカ（二十一）ワルツ（二十二）ポルカ（二十三）ワルツ（二十四）ポルカ（二十五）ワルツ（二十六）ポルカ（二十七）ワルツ（二十八）ポルカ（二十九）ワルツ（三十）ポルカ（三十一）ワルツ（三十二）ポルカ（三十三）ワルツ（三十四）ポルカ（三十五）ワルツ（三十六）ポルカ（三十七）ワルツ（三十八）ポルカ（三十九）ワルツ（四十）ポルカ（四十一）ワルツ（四十二）ポルカ（四十三）ワルツ（四十四）ポルカ（四十五）ワルツ（四十六）ポルカ（四十七）ワルツ（四十八）ポルカ（四十九）ワルツ（五十）ポルカ（五十一）ワルツ（五十二）ポルカ（五十三）ワルツ（五十四）ポルカ（五十五）ワルツ（五十六）ポルカ（五十七）ワルツ（五十八）ポルカ（五十九）ワルツ（六十）ポルカ（六十一）ワルツ（六十二）ポルカ（六十三）ワルツ（六十四）ポルカ（六十五）ワルツ（六十六）ポルカ（六十七）ワルツ（六十八）ポルカ（六十九）ワルツ（七十）ポルカ（七十一）ワルツ（七十二）ポルカ（七十三）ワルツ（七十四）ポルカ（七十五）ワルツ（七十六）ポルカ（七十七）ワルツ（七十八）ポルカ（七十九）ワルツ（八十）ポルカ（八十一）ワルツ（八十二）ポルカ（八十三）ワルツ（八十四）ポルカ（八十五）ワルツ（八十六）ポルカ（八十七）ワルツ（八十八）ポルカ（八十九）ワルツ（九十）ポルカ（九十一）ワルツ（九十二）ポルカ（九十三）ワルツ（九十四）ポルカ（九十五）ワルツ（九十六）ポルカ（九十七）ワルツ（九十八）ポルカ（九十九）ワルツ（百）ポルカ（百一）ワルツ（百二）ポルカ（百三）ワルツ（百四）ポルカ（百五）ワルツ（百六）ポルカ（百七）ワルツ（百八）ポルカ（百九）ワルツ（百十）ポルカ（百十一）ワルツ（百十二）ポルカ（百十三）ワルツ（百十四）ポルカ（百十五）ワルツ（百十六）ポルカ（百十七）ワルツ（百十八）ポルカ（百十九）ワルツ（百二十）ポルカ（百二十一）ワルツ（百二十二）ポルカ（百二十三）ワルツ（百二十四）ポルカ（百二十五）ワルツ（百二十六）ポルカ（百二十七）ワルツ（百二十八）ポルカ（百二十九）ワルツ（百三十）ポルカ（百三十一）ワルツ（百三十二）ポルカ（百三十三）ワルツ（百三十四）ポルカ（百三十五）ワルツ（百三十六）ポルカ（百三十七）ワルツ（百三十八）ポルカ（百三十九）ワルツ（百四十）ポルカ（百四十一）ワルツ（百四十二）ポルカ（百四十三）ワルツ（百四十四）ポルカ（百四十五）ワルツ（百四十六）ポルカ（百四十七）ワルツ（百四十八）ポルカ（百四十九）ワルツ（百五十）ポルカ（百五十一）ワルツ（百五十二）ポルカ（百五十三）ワルツ（百五十四）ポルカ（百五十五）ワルツ（百五十六）ポルカ（百五十七）ワルツ（百五十八）ポルカ（百五十九）ワルツ（百六十）ポルカ（百六十一）ワルツ（百六十二）ポルカ（百六十三）ワルツ（百六十四）ポルカ（百六十五）ワルツ（百六十六）ポルカ（百六十七）ワルツ（百六十八）ポルカ（百六十九）ワルツ（百七十）ポルカ（百七十一）ワルツ（百七十二）ポルカ（百七十三）ワルツ（百七十四）ポルカ（百七十五）ワルツ（百七十六）ポルカ（百七十七）ワルツ（百七十八）ポルカ（百七十九）ワルツ（百八十）ポルカ（百八十一）ワルツ（百八十二）ポルカ（百八十三）ワルツ（百八十四）ポルカ（百八十五）ワルツ（百八十六）ポルカ（百八十七）ワルツ（百八十八）ポルカ（百八十九）ワルツ（百九十）ポルカ（百九十一）ワルツ（百九十二）ポルカ（百九十三）ワルツ（百九十四）ポルカ（百九十五）ワルツ（百九十六）ポルカ（百九十七）ワルツ（百九十八）ポルカ（百九十九）ワルツ（二百）ポルカ（二百一）ワルツ（二百二）ポルカ（二百三）ワルツ（二百四）ポルカ（二百五）ワルツ（二百六）ポルカ（二百七）ワルツ（二百八）ポルカ（二百九）ワルツ（二百十）ポルカ（二百十一）ワルツ（二百十二）ポルカ（二百十三）ワルツ（二百十四）ポルカ（二百十五）ワルツ（二百十六）ポルカ（二百十七）ワルツ（二百十八）ポルカ（二百十九）ワルツ（二百二十）ポルカ（二百二十一）ワルツ（二百二十二）ポルカ（二百二十三）ワルツ（二百二十四）ポルカ（二百二十五）ワルツ（二百二十六）ポルカ（二百二十七）ワルツ（二百二十八）ポルカ（二百二十九）ワルツ（二百三十）ポルカ（二百三十一）ワルツ（二百三十二）ポルカ（二百三十三）ワルツ（二百三十四）ポルカ（二百三十五）ワルツ（二百三十六）ポルカ（二百三十七）ワルツ（二百三十八）ポルカ（二百三十九）ワルツ（二百四十）ポルカ（二百四十一）ワルツ（二百四十二）ポルカ（二百四十三）ワルツ（二百四十四）ポルカ（二百四十五）ワルツ（二百四十六）ポルカ（二百四十七）ワルツ（二百四十八）ポルカ（二百四十九）ワルツ（二百五十）ポルカ（二百五十一）ワルツ（二百五十二）ポルカ（二百五十三）ワルツ（二百五十四）ポルカ（二百五十五）ワルツ（二百五十六）ポルカ（二百五十七）ワルツ（二百五十八）ポルカ（二百五十九）ワルツ（二百六十）ポルカ（二百六十一）ワルツ（二百六十二）ポルカ（二百六十三）ワルツ（二百六十四）ポルカ（二百六十五）ワルツ（二百六十六）ポルカ（二百六十七）ワルツ（二百六十八）ポルカ（二百六十九）ワルツ（二百七十）ポルカ（二百七十一）ワルツ（二百七十二）ポルカ（二百七十三）ワルツ（二百七十四）ポルカ（二百七十五）ワルツ（二百七十六）ポルカ（二百七十七）ワルツ（二百七十八）ポルカ（二百七十九）ワルツ（二百八十）ポルカ（二百八十一）ワルツ（二百八十二）ポルカ（二百八十三）ワルツ（二百八十四）ポルカ（二百八十五）ワルツ（二百八十六）ポルカ（二百八十七）ワルツ（二百八十八）ポルカ（二百八十九）ワルツ（二百九十）ポルカ（二百九十一）ワルツ（二百九十二）ポルカ（二百九十三）ワルツ（二百九十四）ポルカ（二百九十五）ワルツ（二百九十六）ポルカ（二百九十七）ワルツ（二百九十八）ポルカ（二百九十九）ワルツ（三百）ポルカ（三百一）ワルツ（三百二）ポルカ（三百三）ワルツ（三百四）ポルカ（三百五）ワルツ（三百六）ポルカ（三百七）ワルツ（三百八）ポルカ（三百九）ワルツ（三百十）ポルカ（三百十一）ワルツ（三百十二）ポルカ（三百十三）ワルツ（三百十四）ポルカ（三百十五）ワルツ（三百十六）ポルカ（三百十七）ワルツ（三百十八）ポルカ（三百十九）ワルツ（三百二十）ポルカ（三百二十一）ワルツ（三百二十二）ポルカ（三百二十三）ワルツ（三百二十四）ポルカ（三百二十五）ワルツ（三百二十六）ポルカ（三百二十七）ワルツ（三百二十八）ポルカ（三百二十九）ワルツ（三百三十）ポルカ（三百三十一）ワルツ（三百三十二）ポルカ（三百三十三）ワルツ（三百三十四）ポルカ（三百三十五）ワルツ（三百三十六）ポルカ（三百三十七）ワルツ（三百三十八）ポルカ（三百三十九）ワルツ（三百四十）ポルカ（三百四十一）ワルツ（三百四十二）ポルカ（三百四十三）ワルツ（三百四十四）ポルカ（三百四十五）ワルツ（三百四十六）ポルカ（三百四十七）ワルツ（三百四十八）ポルカ（三百四十九）ワルツ（三百五十）ポルカ（三百五十一）ワルツ（三百五十二）ポルカ（三百五十三）ワルツ（三百五十四）ポルカ（三百五十五）ワルツ（三百五十六）ポルカ（三百五十七）ワルツ（三百五十八）ポルカ（三百五十九）ワルツ（三百六十）ポルカ（三百六十一）ワルツ（三百六十二）ポルカ（三百六十三）ワルツ（三百六十四）ポルカ（三百六十五）ワルツ（三百六十六）ポルカ（三百六十七）ワルツ（三百六十八）ポルカ（三百六十九）ワルツ（三百七十）ポルカ（三百七十一）ワルツ（三百七十二）ポルカ（三百七十三）ワルツ（三百七十四）ポルカ（三百七十五）ワルツ（三百七十六）ポルカ（三百七十七）ワルツ（三百七十八）ポルカ（三百七十九）ワルツ（三百八十）ポルカ（三百八十一）ワルツ（三百八十二）ポルカ（三百八十三）ワルツ（三百八十四）ポルカ（三百八十五）ワルツ（三百八十六）ポルカ（三百八十七）ワルツ（三百八十八）ポルカ（三百八十九）ワルツ（三百九十）ポルカ（三百九十一）ワルツ（三百九十二）ポルカ（三百九十三）ワルツ（三百九十四）ポルカ（三百九十五）ワルツ（三百九十六）ポルカ（三百九十七）ワルツ（三百九十八）ポルカ（三百九十九）ワルツ（四百）ポルカ（四百一）ワルツ（四百二）ポルカ（四百三）ワルツ（四百四）ポルカ（四百五）ワルツ（四百六）ポルカ（四百七）ワルツ（四百八）ポルカ（四百九）ワルツ（四百十）ポルカ（四百十一）ワルツ（四百十二）ポルカ（四百十三）ワルツ（四百十四）ポルカ（四百十五）ワルツ（四百十六）ポルカ（四百十七）ワルツ（四百十八）ポルカ（四百十九）ワルツ（四百二十）ポルカ（四百二十一）ワルツ（四百二十二）ポルカ（四百二十三）ワルツ（四百二十四）ポルカ（四百二十五）ワルツ（四百二十六）ポルカ（四百二十七）ワルツ（四百二十八）ポルカ（四百二十九）ワルツ（四百三十）ポルカ（四百三十一）ワルツ（四百三十二）ポルカ（四百三十三）ワルツ（四百三十四）ポルカ（四百三十五）ワルツ（四百三十六）ポルカ（四百三十七）ワルツ（四百三十八）ポルカ（四百三十九）ワルツ（四百四十）ポルカ（四百四十一）ワルツ（四百四十二）ポルカ（四百四十三）ワルツ（四百四十四）ポルカ（四百四十五）ワルツ（四百四十六）ポルカ（四百四十七）ワルツ（四百四十八）ポルカ（四百四十九）ワルツ（四百五十）ポルカ（四百五十一）ワルツ（四百五十二）ポルカ（四百五十三）ワルツ（四百五十四）ポルカ（四百五十五）ワルツ（四百五十六）ポルカ（四百五十七）ワルツ（四百五十八）ポルカ（四百五十九）ワルツ（四百六十）ポルカ（四百六十一）ワルツ（四百六十二）ポルカ（四百六十三）ワルツ（四百六十四）ポルカ（四百六十五）ワルツ（四百六十六）ポルカ（四百六十七）ワルツ（四百六十八）ポルカ（四百六十九）ワルツ（四百七十）ポルカ（四百七十一）ワルツ（四百七十二）ポルカ（四百七十三）ワルツ（四百七十四）ポルカ（四百七十五）ワルツ（四百七十六）ポルカ（四百七十七）ワルツ（四百七十八）ポルカ（四百七十九）ワルツ（四百八十）ポルカ（四百八十一）ワルツ（四百八十二）ポルカ（四百八十三）ワルツ（四百八十四）ポルカ（四百八十五）ワルツ（四百八十六）ポルカ（四百八十七）ワルツ（四百八十八）ポルカ（四百八十九）ワルツ（四百九十）ポルカ（四百九十一）ワルツ（四百九十二）ポルカ（四百九十三）ワルツ（四百九十四）ポルカ（四百九十五）ワルツ（四百九十六）ポルカ（四百九十七）ワルツ（四百九十八）ポルカ（四百九十九）ワルツ（五百）ポルカ（五百一）ワルツ（五百二）ポルカ（五百三）ワルツ（五百四）ポルカ（五百五）ワルツ（五百六）ポルカ（五百七）ワルツ（五百八）ポルカ（五百九）ワルツ（五百十）ポルカ（五百十一）ワルツ（五百十二）ポルカ（五百十三）ワルツ（五百十四）ポルカ（五百十五）ワルツ（五百十六）ポルカ（五百十七）ワルツ（五百十八）ポルカ（五百十九）ワルツ（五百二十）ポルカ（五百二十一）ワルツ（五百二十二）ポルカ（五百二十三）ワルツ（五百二十四）ポルカ（五百二十五）ワルツ（五百二十六）ポルカ（五百二十七）ワルツ（五百二十八）ポルカ（五百二十九）ワルツ（五百三十）ポルカ（五百三十一）ワルツ（五百三十二）ポルカ（五百三十三）ワルツ（五百三十四）ポルカ（五百三十五）ワルツ（五百三十六）ポルカ（五百三十七）ワルツ（五百三十八）ポルカ（五百三十九）ワルツ（五百四十）ポルカ（五百四十一）ワルツ（五百四十二）ポルカ（五百四十三）ワルツ（五百四十四）ポルカ（五百四十五）ワルツ（五百四十六）ポルカ（五百四十七）ワルツ（五百四十八）ポルカ（五百四十九）ワルツ（五百五十）ポルカ（五百五十一）ワルツ（五百五十二）ポルカ（五百五十三）ワルツ（五百五十四）ポルカ（五百五十五）ワルツ（五百五十六）ポルカ（五百五十七）ワルツ（五百五十八）ポルカ（五百五十九）ワルツ（五百六十）ポルカ（五百六十一）ワルツ（五百六十二）ポルカ（五百六十三）ワルツ（五百六十四）ポルカ（五百六十五）ワルツ（五百六十六）ポルカ（五百六十七）ワルツ（五百六十八）ポルカ（五百六十九）ワルツ（五百七十）ポルカ（五百七十一）ワルツ（五百七十二）ポルカ（五百七十三）ワルツ（五百七十四）ポルカ（五百七十五）ワルツ（五百七十六）ポルカ（五百七十七）ワルツ（五百七十八）ポルカ（五百七十九）ワルツ（五百八十）ポルカ（五百八十一）ワルツ（五百八十二）ポルカ（五百八十三）ワルツ（五百八十四）ポルカ（五百八十五）ワルツ（五百八十六）ポルカ（五百八十七）ワルツ（五百八十八）ポルカ（五百八十九）ワルツ（五百九十）ポルカ（五百九十一）ワルツ（五百九十二）ポルカ（五百九十三）ワルツ（五百九十四）ポルカ（五百九十五）ワルツ（五百九十六）ポルカ（五百九十七）ワルツ（五百九十八）ポルカ（五百九十九）ワルツ（六百）ポルカ（六百一）ワルツ（六百二）ポルカ（六百三）ワルツ（六百四）ポルカ（六百五）ワルツ（六百六）ポルカ（六百七）ワルツ（六百八）ポルカ（六百九）ワルツ（六百十）ポルカ（六百十一）ワルツ（六百十二）ポルカ（六百十三）ワルツ（六百十四）ポルカ（六百十五）ワルツ（六百十六）ポルカ（六百十七）ワルツ（六百十八）ポルカ（六百十九）ワルツ（六百二十）ポルカ（六百二十一）ワルツ（六百二十二）ポルカ（六百二十三）ワルツ（六百二十四）ポルカ（六百二十五）ワルツ（六百二十六）ポルカ（六百二十七）ワルツ（六百二十八）ポルカ（六百二十九）ワルツ（六百三十）ポルカ（六百三十一）ワルツ（六百三十二）ポルカ（六百三十三）ワルツ（六百三十四）ポルカ（六百三十五）ワルツ（六百三十六）ポルカ（六百三十七）ワルツ（六百三十八）ポルカ（六百三十九）ワルツ（六百四十）ポルカ（六百四十一）ワルツ（六百四十二）ポルカ（六百四十三）ワルツ（六百四十四）ポルカ（六百四十五）ワルツ（六百四十六）ポルカ（六百四十七）ワルツ（六百四十八）ポルカ（六百四十九）ワルツ（六百五十）ポルカ（六百五十一）ワルツ（六百五十二）ポルカ（六百五十三）ワルツ（六百五十四）ポルカ（六百五十五）ワルツ（六百五十六）ポルカ（六百五十七）ワルツ（六百五十八）ポルカ（六百五十九）ワルツ（六百六十）ポルカ（六百六十一）ワルツ（六百六十二）ポルカ（六百六十三）ワルツ（六百六十四）ポルカ（六百六十五）ワルツ（六百六十六）ポルカ（六百六十七）ワルツ（六百六十八）ポルカ（六百六十九）ワルツ（六百七十）ポルカ（六百七十一）ワルツ（六百七十二）ポルカ（六百七十三）ワルツ（六百七十四）ポルカ（六百七十五）ワルツ（六百七十六）ポルカ（六百七十七）ワルツ（六百七十八）ポルカ（六百七十九）ワルツ（六百八十）ポルカ（六百八十一）ワルツ（六百八十二）ポルカ（六百八十三）ワルツ（六百八十四）ポルカ（六百八十五）ワルツ（六百八十六）ポルカ（六百八十七）ワルツ（六百八十八）ポルカ（六百八十九）ワルツ（六百九十）ポルカ（六百九十一）ワルツ（六百九十二）ポルカ（六百九十三）ワルツ（六百九十四）ポルカ（六百九十五）ワルツ（六百九十六）ポルカ（六百九十七）ワルツ（六百九十八）ポルカ（六百九十九）ワルツ（七百）ポルカ（七百一）ワルツ（七百二）ポルカ（七百三）ワルツ（七百四）ポルカ（七百五）ワルツ（七百六）ポルカ（七百七）ワルツ（七百八）ポルカ（七百九）ワルツ（七百十）ポルカ（七百十一）ワルツ（七百十二）ポルカ（七百十三）ワルツ（七百十四）ポルカ（七百十五）ワルツ（七百十六）ポルカ（七百十七）ワルツ（七百十八）ポルカ（七百十九）ワルツ（七百二十）ポルカ（七百二十一）ワルツ（七百二十二）ポルカ（七百二十三）ワルツ（七百二十四）ポルカ（七百二十五）ワルツ（七百二十六）ポルカ（七百二十七）ワルツ（七百二十八）ポルカ（七百二十九）ワルツ（七百三十）ポルカ（七百三十一）ワルツ（七百三十二）ポルカ（七百三十三）ワルツ（七百三十四）ポルカ（七百三十五）ワルツ（七百三十六）ポルカ（七百三十七）ワルツ（七百三十八）ポルカ（七百三十九）ワルツ（七百四十）ポルカ（七百四十一）ワルツ（七百四十二）ポルカ（七百四十三）ワルツ（七百四十四）ポルカ（七百四十五）ワルツ（七百四十六）ポルカ（七百四十七）ワルツ（七百四十八）ポルカ（七百四十九）ワルツ（七百五十）ポルカ（七百五十一）ワルツ（七百五十二）ポルカ（七百五十三）ワルツ（七百五十四）ポルカ（七百五十五）ワルツ（七百五十六）ポルカ（七百五十七）ワルツ（七百五十八）ポルカ（七百五十九）ワルツ（七百六十）ポルカ（七百六十一）ワルツ（七百六十二）ポルカ（七百六十三）ワルツ（七百六十四）ポルカ（七百六十五）ワルツ（七百六十六）ポルカ（七百六十七）ワルツ（七百六十八）ポルカ（七百六十九）ワルツ（七百七十）ポルカ（七百七十一）ワルツ（七百七十二）ポルカ（七百七十三）ワルツ（七百七十四）ポルカ（七百七十五）ワルツ（七百七十六）ポルカ（七百七十七）ワルツ（七百七十八）ポルカ（七百七十九）ワルツ（七百八十）ポルカ（七百八十一）ワルツ（七百八十二）ポルカ（七百八十三）ワルツ（七百八十四）ポルカ（七百八十五）ワルツ（七百八十六）ポルカ（七百八十七）ワルツ（七百八十八）ポルカ（七百八十九）ワルツ（七百九十）ポルカ（七百九十一）ワルツ（七百九十二）ポルカ（七百九十三）ワルツ（七百九十四）ポルカ（七百九十五）ワルツ（七百九十六）ポルカ（七百九十七）ワルツ（七百九十八）ポルカ（七百九十九）ワルツ（八百）ポルカ（八百一）ワルツ（八百二）ポルカ（八百三）ワルツ（八百四）ポルカ（八百五）ワルツ（八百六）ポルカ（八百七）ワルツ（八百八）ポルカ（八百九）ワルツ（八百十）ポルカ（八百十一）ワルツ（八百十二）ポルカ（八百十三）ワルツ（八百十四）ポルカ（八百十五）ワルツ（八百十六）ポルカ（八百十七）ワルツ（八百十八）ポルカ（八百十九）ワルツ（八百二十）ポルカ（八百二十一）ワルツ（八百二十二）ポルカ（八百二十三）ワルツ（八百二十四）ポルカ（八百二十五）ワルツ（八百二十六）ポルカ（八百二十七）ワルツ（八百二十八）ポルカ（八百二十九）ワルツ（八百三十）ポルカ（八百三十一）ワルツ（八百三十二）ポルカ（八百三十三）ワルツ（八百三十四）ポルカ（八百三十五）ワルツ（八百三十六）ポルカ（八百三十七）ワルツ（八百三十八）ポルカ（八百三十九）ワルツ（八百四十）ポルカ（八百四十一）ワルツ（八百四十二）ポルカ（八百四十三）ワルツ（八百四十四）ポルカ（八百四十五）ワルツ（八百四十六）ポルカ（八百四十七）ワルツ（八百四十八）ポルカ（八百四十九）ワルツ（八百五十）ポルカ（八百五十一）ワルツ（八百五十二）ポルカ（八百五十三）ワルツ（八百五十四）ポルカ（八百五十五）ワルツ（八百五十六）ポルカ（八百五十七）ワルツ（八百五十八）ポルカ（八百五十九）ワルツ（八百六十）ポルカ（八百六十一）ワルツ（八百六十二）ポルカ（八百六十三）ワルツ（八百六十四）ポルカ（八百六十五）ワルツ（八百六十六）ポルカ（八百六十七）ワルツ（八百六十八）ポルカ（八百六十九）ワルツ（八百七十）ポルカ（八百七十一）ワルツ（八百七十二）ポルカ（八百七十三）ワルツ（八百七十四）ポルカ（八百七十五）ワルツ（八百七十六）ポルカ（八百七十七）ワルツ（八百七十八）ポルカ（八百七十九）ワルツ（八百八十）ポルカ（八百八十一）ワルツ（八百八十二）ポルカ（八百八十三）ワルツ（八百八十四）ポルカ（八百八十五）ワルツ（八百八十六）ポルカ（八百八十七）ワルツ（八百八十八）ポルカ（八百八十九）ワルツ（八百九十）ポルカ（八百九十一）ワルツ（八百九十二）ポルカ（八百九十三）ワルツ（八百九十四）ポルカ（八百九十五）ワルツ（八百九十六）ポルカ（八百九十七）ワルツ（八百九十八）ポルカ（八百九十九）ワルツ（九百）ポルカ（九百一）ワルツ（九百二）ポルカ（九百三）ワルツ（九百四）ポルカ（九百五）ワルツ（九百六）ポルカ（九百七）ワルツ（九百八）ポルカ（九百九）ワルツ（九百十）ポルカ（九百十一）ワルツ（九百十二）ポルカ（九百十三）ワルツ（九百十四）ポルカ（九百十五）ワルツ（九百十六）ポルカ（九百十七）ワルツ（九百十八）ポルカ（九百十九）ワルツ（九百二十）ポルカ（九百二十一）ワルツ（九百二十二）ポルカ（九百二十三）ワルツ（九百二十四）ポルカ（九百二十五）ワルツ（九百二十六）ポルカ（九百二十七）ワルツ（九百二十八）ポルカ（九百二十九）ワルツ（九百三十）ポルカ（九百三十一）ワルツ（九百三十二）ポルカ（九百三十三）ワルツ（九百三十四）ポルカ（九百三十五）ワルツ（九百三十六）ポルカ（九百三十七）ワルツ（九百三十八）ポルカ（九百三十九）ワルツ（九百四十）ポルカ（九百四十一）ワルツ（九百四十二）ポルカ（九百四十三）ワルツ（九百四十四）ポルカ（九百四十五）ワルツ（九百四十六）ポルカ（九百四十七）ワルツ（九百四十八）ポルカ（九百四十九）ワルツ（九百五十）ポルカ（九百五十一）ワルツ（九百五十二）ポルカ（九百五十三）ワルツ（九百五十四）ポルカ（九百五十五）ワルツ（九百五十六）ポルカ（九百五十七）ワルツ（九百五十八）ポルカ（九百五十九）ワルツ（九百六十）ポルカ（九百六十一）ワルツ（九百六十二）ポルカ（九百六十三）ワルツ（九百六十四）ポルカ（九百六十五）ワルツ（九百六十六）ポルカ（九百六十七）ワルツ（九百六十八）ポルカ（九百六十九）ワルツ（九百七十）ポルカ（九百七十一）ワルツ（九百七十二）ポルカ（九百七十三）ワルツ（九百七十四）ポルカ（九百七十五）ワルツ（九百七十六）ポルカ（九百七十七）ワルツ（九百七十八）ポルカ（九百七十九）ワルツ（九百八十）ポルカ（九百八十一）ワルツ（九百八十二）ポルカ（九百八十三）ワルツ（九百八十四）ポルカ（九百八十五）ワルツ（九百八十六）ポルカ（九百八十七）ワルツ（九百八十八）ポルカ（九百八十九）ワルツ（九百九十）ポルカ（九百九十一）ワルツ（九百九十二）ポルカ（九百九十三）ワルツ（九百九十四）ポルカ（九百九十五）ワルツ（九百九十六）ポルカ（九百九十七）ワルツ（九百九十八）ポルカ（九百九十九）ワルツ（千）ポルカ（千一）ワルツ（千二）ポルカ（千三）ワルツ（千四）ポルカ（千五）ワルツ（千六）ポルカ（千七）ワルツ（千八）ポルカ（千九）ワルツ（千十）ポルカ（千十一）ワルツ（千十二）ポルカ（千十三）ワルツ（千十四）ポルカ（千十五）ワルツ（千十六）ポルカ（千十七）ワルツ（千十八）ポルカ（千十九）ワルツ（千二十）ポルカ（千二十一）ワルツ（千二十二）ポルカ（千二十三）ワルツ（千二十四）ポルカ（千二十五）ワルツ（千二十六）ポルカ（千二十七）ワルツ（千二十八）ポルカ（千二十九）ワルツ（千三十）ポルカ（千三十一）ワルツ（千三十二）ポルカ（千三十三）ワルツ（千三十四）ポルカ（千三十五）ワルツ（千三十六）ポルカ（千三十七）ワルツ（千三十八）ポルカ（千三十九）ワルツ（千四十）ポルカ（千四十一）ワルツ（千四十二）ポルカ（千四十三）ワルツ（千四十四）ポルカ（千四十五）ワルツ（千四十六）ポルカ（千四十七）ワルツ（千四十八）ポルカ（千四十九）ワルツ（千五十）ポルカ（千五十一）ワルツ（千五十二）ポルカ（千五十三）ワルツ（千五十四）ポルカ（千五十五）ワルツ（千五十六）ポルカ（千五十七）ワルツ（千五十八）ポルカ（千五十九）ワルツ（千六十）ポルカ（千六十一）ワルツ（千六十二）ポルカ（千六十三）ワルツ（千六十四）ポルカ（千六十五）ワルツ（千六十六）ポルカ（千六十七）ワルツ（千六十八）ポルカ（千六十九）ワルツ（千七十）ポルカ（千七十一）ワルツ（千七十二）ポルカ（千七十三）ワルツ（千七十四）ポルカ（千七十五）ワルツ（千七十六）ポルカ（千七十七）ワルツ（千七十八）ポルカ（千七十九）ワルツ（千八十）ポルカ（千八十一）ワルツ（千八十二）ポルカ（千八十三）ワルツ（千八十四）ポルカ（千八十五）ワルツ（千八十六）ポルカ（千八十七）ワルツ（千八十八）ポルカ（千八十九）ワルツ（千九十）ポルカ（千九十一）ワルツ（千九十二）ポルカ（千九十三）ワルツ（千九十四）ポルカ（千九十五）ワルツ（千九十六）ポルカ（千九十七）ワルツ（千九十八）ポルカ（千九十九）ワルツ（二千）ポルカ（二千一）ワルツ（二千二）ポルカ（二千三）ワルツ（二千四）ポルカ（二千五）ワルツ（二千六）ポルカ（二千七）ワルツ（二千八）ポルカ（二千九）ワルツ（二千十）ポルカ（二千十一）ワルツ（二千十二）ポルカ（二千十三）ワルツ（二千十四）ポルカ（二千十五）ワルツ（二千十六）ポルカ（二千十七）ワルツ（二千十八）ポルカ（二千十九）ワルツ（二千二十）ポルカ（二千二十一）ワルツ（二千二十二）ポルカ（二千二十三）ワルツ（二千二十四）ポルカ（二千二十五）ワルツ（二千二十六）ポルカ（二千二十七）ワルツ（二千二十八）ポルカ（二千二十九）ワルツ（二千三十）ポルカ（二千三十一）ワルツ（二千三十二）ポルカ（二千三十三）ワルツ（二千三十四）ポルカ（二千三十五）ワルツ（二千三十六）ポルカ（二千三十七）ワルツ（二千三十八）ポルカ（二千三十九）ワルツ（二千四十）ポルカ（二千四十一）ワルツ（二千四十二）ポルカ（二千四十三）ワルツ（二千四十四）ポルカ（二千四十五）ワルツ（二千四十六）ポルカ（二千四十七）ワルツ（二千四十八）ポルカ（二千四十九）ワルツ（二千五十）ポルカ（二千五十一）ワルツ（二千五十二）ポルカ（二千五十三）ワルツ（二千五十四）ポルカ（二千五十五）ワルツ（二千五十六）ポルカ（二千五十七）ワルツ（二千五十八）ポルカ（二千五十九）ワルツ（二千六十）ポルカ（二千六十一）ワルツ（二千六十二）ポルカ（二千六十三）ワルツ（二千六十四）ポルカ（二千六十五）ワルツ（二千六十六）ポルカ（二千六十七）ワルツ（二千六十八）ポルカ（二千六十九）ワルツ（二千七十）ポルカ（二千七十一）ワルツ（二千七十二）ポルカ（二千七十三）ワルツ（二千七十四）ポルカ（二千七十五）ワルツ（二千七十六）ポルカ（二千七十七）ワルツ（二千七十八）ポルカ（二千七十九）ワルツ（二千八十）ポルカ（二千八十一）ワルツ（二千八十二）ポルカ（二千八十三）ワルツ（二千八十四）ポルカ（二千八十五）ワルツ（二千八十六）ポルカ（二千八十七）ワルツ（二千八十八）ポルカ（二千八十九）ワルツ（二千九十）ポルカ（二千九十一）ワルツ（二千九十二）ポルカ（二千九十三）ワルツ（二千九十四）ポルカ（二千九十五）ワルツ（二千九十六）ポルカ（二千九十七）ワルツ（二千九十八）ポルカ（二千九十九）ワルツ（三千）ポルカ（三千一）ワルツ（三千二）ポルカ（三千三）ワルツ（三千四）ポルカ（三千五）ワルツ（三千六）ポルカ（三千七）ワルツ（三千八）ポルカ（三千九）ワルツ（三千十）ポルカ（三千十一）ワルツ（三千十二）ポルカ（三千十三）ワルツ（三千十四）ポルカ（三千十五）ワルツ（三千十六）ポルカ（三千十七）ワルツ（三千十八）ポルカ（三千十九）ワルツ（三千二十）ポルカ（三千二十一）ワルツ（三千二十二）ポルカ（三千二十三）ワルツ（三千二十四）ポルカ（三千二十五）ワルツ（三千二十六）ポルカ（三千二十七）ワルツ（三千二十八）ポルカ（三千二十九）ワルツ（三千三十）ポルカ（三千三十一）ワルツ（三千三十二）ポルカ（三千三十三）ワルツ（三千三十四）ポルカ（三千三十五）ワルツ（三千三十六）ポルカ（三千三十七）ワルツ（三千三十八）ポルカ（三千三十九）ワルツ（三千四十）ポルカ（三千四十一）ワルツ（三千四十二）ポルカ（三千四十三）ワルツ（三千四十四）ポルカ（三千四十五）ワルツ（三千四十六）ポルカ（三千四十七）ワルツ（三千四十八）ポルカ（三千四十九）ワルツ（三千五十）ポルカ（三千五十一）ワルツ（三千五十二）ポルカ（三千五十三）ワルツ（三千五十四）ポルカ（三千五十五）ワルツ（三千五十六）ポルカ（三千五十七）ワルツ（三千五十八）ポルカ

金の密輸出犯人を臺南で十數名引致

五日早朝に、内外勤警官數十名總動員の下に

【臺南電話】臺南州下では五日午前五時半を期し、警察官數十名總動員の下に金密輸出犯人捜査の目的を以て市内外各方面の容疑人宅、支那人倶楽部、工業組合、阿片吸飲者、前科者、要注意人物等に對し一齊に檢索を行つた結果、支那人倶楽部より金塊十數個を發見、一味の者數名を檢束、取調べ中であるが右は昨三月

全島に魁けて

官選議員を內示

澎湖廳では五日告示

【臺北特電】澎湖廳では六日の廳務會議に諮つて、官選議員候補者二名を内定、七日の告示を待つて發表することになつた、候補者は目下極秘裏に調査中であるが、有力なる候補者は、前回の選擧に次點となつた、元澎湖廳長、現在臺北に住む、○○○氏と、現在の廳長、○○○氏の二名であるといはれ、何れも澎湖島出身者で、地元民の信望厚く、殊に○○○氏は、前回の選擧に於ても、最高點者であつたので、今回は、同氏の當選確實視されてゐる、

花蓮港街にも

選擧氣分動く

無筆者は僅かに八名

【花蓮港電話】四十數の壯觀を有すると云はれてゐる花蓮港街は、金塊密輸の巨魁等の發多の檢擧が續出され、昭和八年以來稀有の大檢擧出現かと、全島の視聴を集めて、昭和八年以來稀有の大檢擧出現かと、全島の視聴を集めて、昭和八年以來稀有の大檢擧出現かと、全島の視聴を集めて、

花蓮港廳下の寶庫は

依然として堅く閉さる

出願三百件の內許可は九件

少年が縊死

不審もあつて取調中

臺南州の處女選擧

準備工作全く成る

知事が近く州下の狀勢を視察

雄飛を志して

林濟川氏が渡支

米穀移出商組合理事を辭

臺中代表選手

十五名決定す

基隆の國民精

神作興運動

士林分室の一

齊捜査

基隆市青年團長

會議

秋季演習に參加

危なかつた

列車飛降り

水中爆破作業の

演習

自動車に突倒さる

豪車が脫線顚覆

東京足袋

ほまれ印
皆様印
扶桑印
合同印

品よく
形よく
はき心地よし

産

タイガー計算
本社・工場新築移轉記念　値下斷行
創業以來十餘年間御愛顧を蒙りましたタイガー計算器は
此度本社並工場が新築落成し移轉致しました
弊社は此の記念すべき時に當り値下斷行を敢て致しました
新正價カタログ御請求下さい
タイガー計算器株式會社　台灣總代理店
江里口商會
台北市本町一丁目（電話335、888番）

井戸端會議で
萬場一致推薦
ケンブ石鹸
ケンブが樂になつたと評判

月やく
夫婦讀本
（生活實性）

大阪市政調査會推奨

謹祝 市政施行四十周年記念

毒中片阿ンイロヘネルモ

其他同類似麻醉藥新治療劑

龍三方一ル

阿片、「モルヒネ」、「ヘロイン」其他同片「アルカロイド」類又は「コカイン」等の如き麻醉藥の慢性中毒患者を治療するに當り、最も不快なるは藥斷現象の發生することなり、即ち藥劑の解毒時異常に昂奮するものにして迷走神經系統症狀を呈するものなり、瞳孔は縮小、四肢、肋骨、筋肉、筋肉、震顫、食慾不振等あらゆる全身的苦悶を訴へ、或は痙攣を失す等實に死の慘狀を見ることあり、以て藥劑中毒症の如何に苦痛すべきかを知るに足る

◇昭モナールの特徴

◇効力迅速にして前述の苦悶症狀を緩和し何等頭痛より殺せらる

◇中毒に原因する不眠、胃腸症狀、食慾不振、惱悸に對し迅速に効力を發揮し、本劑使用後は爽快なる睡眠を誘發せしむ

◇一般中毒者の血液循環を良好ならしめ食慾增進、榮養狀態を著しく改善せしむ（文献進呈）

企業體

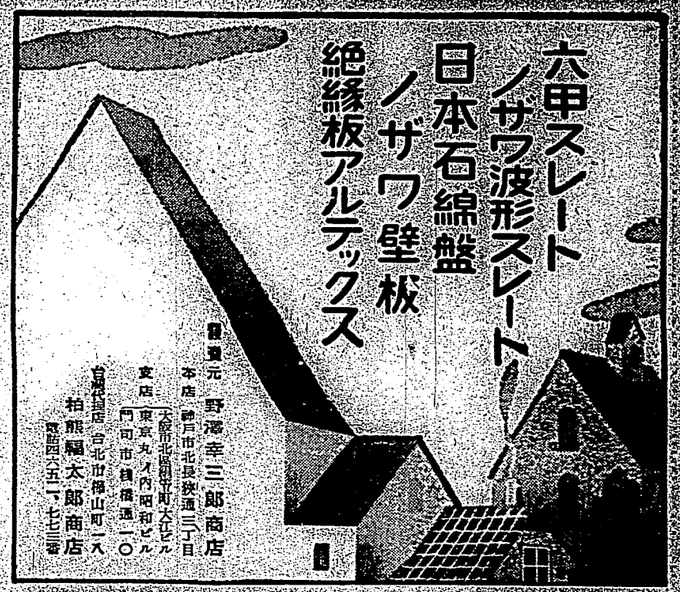
阿片、モルヒネ、コデイン、（ヘロイン）コカイン等其他同類似藥劑の中毒症

元會員
所究研學化醫大學
元實驗
商會藥兵庫區下澤
大正三年三月

大同燐寸株式會社

本店　神戸市兵庫區下澤通六丁目二番地

代表電話湊川二六三一



六甲スレート
ノザワ波形スレート
日本石綿盤
ノザワ壁板
絶緣板アルテックス

發賣元　野澤幸三郎商店
本店　神戸市北長狹通三ノ一
支店　（大阪市北區堂島平町大江ビル
（東京丸ノ内明和ビル
門司市錢龍通一〇
名古屋出張店　名北市橘山町一ノ入
柏熊輸太郎商店
電話四六五一・七七三番

明治二十六年創業

火災保險（代理店　三井物産）

本社　大阪市北區堂島濱通二丁目

大阪海上火災保險株式會社

社長　新庄清吉

專務取締役　伊賀歌一

傷害保險兼運送保險兼營

海上保險（代理店　臺灣運輸、柴田商會、帶間商會　其他）

資本金壹千萬圓

火災保險　本店　大阪市北區堂島濱通二ノ二
代理店　臺灣主要各地ニ在リ

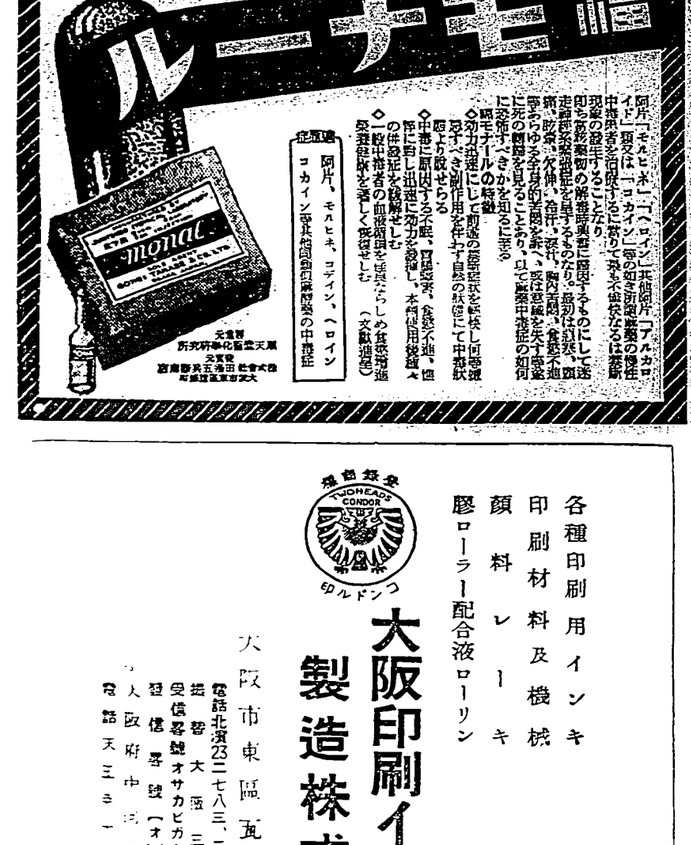
攝津海上火災保險株式會社

取締役會々長　桂村蘇一
專務取締役　田藏省一郎

東洋一

エスロ

京都野口商行
京都市京町二丁目五八二三番



大阪印刷インキ製造株式會社

各種印刷用インキ
印刷材料及機械
顏料レーキ
膠ローラー配合液ローリン

大阪市東區瓦町一丁目
電話北濱23二七八三、二八八三、三八二七番
振替　大阪三二九七番
受信暗號オサカヒガシ・インサツインキ
電信暗號（オ）五八（オイ）
大阪府中河内郡玉川村
電話天王寺一一二一番

六櫻社

パーレットカメラ

さくらフィルム

さくらクローム
さくら赤外
さくらU・S・パン

新發賣　さくらU・Sクローム
さくら印畫紙「染井」
懸賞寫眞募集
〆切十一月末日

大阪長堀橋筋小西六

證券問屋
大阪株式取引所一般取引員
同　國債取引員

辻楠商店

大阪市東區北濱二丁目
電話交換キタハマ、カブ、ツジクス

電話	長680	本町局	204
北濱41112	北濱41113	本町局	205
北濱41114	北濱41115	本町局	206
北濱41116	北濱41117	本町局	207
北濱41118	北濱5681	本町局	208
北濱5682	北濱5683	本町局	209
北濱5684	北濱5685		
電信	大阪33066		

躍進の歌手の
牙城を拔は誰！

昨の花

河原喜代丸

木曾なかし

虎田

股旅小唄

マイケル・ボーイ

南国の夢

ミス・タイヘイ

いつもティティ

ミス・タイヘイ

タイヘイレコード

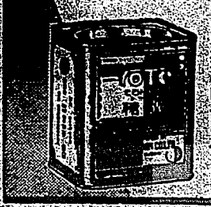
糖煮ドリンク

牛乳の絶好伴侶
スピード榮養糖

コメソト

養糖

乳兒、病兒、病人の
榮養に！
運動、事務、勉學の
疲勞恢復に！



大阪市東區今橋二丁目
株式會社　黒田藥品商會

（第三種郵便物認可）　昭和十年十一月六日　臺灣日日新報　第一万二千七百八十九號　一一（七）一

大演習御統裁の為 天皇陛下けふ御進發

横須賀から比叡に御乘艦

【東京五日發】二日閣議で御親閲官等を經らせられた天皇陛下には陸軍大演習御統監の爲め御參謀、御隨行者を御供あらせられ、天皇陛下の御召艦比叡の碇泊する横須賀軍港に行幸遊ばされるのは八日午前八時三十分發東京驛御發御列車にて御發輦、十一時横須賀驛御着、直ちに御召艦比叡に御乘艦、十一時五十分三笠艦御發錨、午後一時比叡艦御發錨、十一月九日午前八時三十分御着の豫定である

東京驛に次ぐ乘降客

先月廿八日は九萬二千餘名 臺北驛としては空前の數字

めつきり殖えた 郵貯の拂戻し

博覽會見物の費用に 事務總長も激勵

死の覺悟で 職務に當れ

激勵の勅語は十一月十一日 一日總監のみ

島外からも參加 醫學會總會を開く

十六、十七兩日醫專講堂で

縣賞付入場券 六萬枚に縮小

全島的に賣り出す

表忠府と御命名 落成した新御府に

集配人の誤配から 遂に下獄の憂目

軍事工業に貢獻せる田中氏 憤つて遞相を訴ふ

ダヴアオに棲む バゴボ族の番人

忘るゝな邦人の勞苦

小國民の赤誠「教育號」命名式

判士長には 佐藤少將

近く相澤中佐の軍法會議

臺北豫選 全島野球大會

九日から開始

開教四十周年 記念法要と講演

鷹田孝潤僧正を招聘して

高野選手もオリンピック候補に選ばる

日本陸上競技聯盟で決定

寺内軍司令官 長崎から宮崎へ

大演習陪觀に向ふ

臺北の宿屋の 高いに驚く

名士たちの土産話

南署が選擧講習會

帝人事件公判

赤池炭礦機牲者を全部收容

陸軍大演習 特別放送

十日から四日間

第一映畫超特作 名物三人男

七日大公開 第一世界館

台灣皆知板

天のふだ

日本鑛業大會

內臺鮮百餘名出席

夜受內臺鑛業會招宴

日本鑛業會及臺灣鑛業會共同主催之日本鑛業大會五日午後二時過。開於明石町警察會館。內鮮出席者二十六名。午前十時。於臺灣鑛業會館。受臺灣鑛業會長松澤傳太郎氏歡迎。次布左記講演。

就臺灣石油地質　礦務技師理學士　鳥居　敬造

二通風　機關合連轉之實驗報告　九州帝大教授工學博士　小田二三男

就東部臺灣砂金鑛業　礦務技師工學士　高橋　春吉

內鑛出席重要者。即日本鑛業會長松澤傳太郎。同工事松井一郎。日本鑛業協會玉鑛山事務所長丁學博士　齋藤平吉

東邦電氣鑛業所長齋藤平吉　內鑛業所鑛務課長兼留學之助。

川敏介。平壤府外寺洞炭礦技師。九州帝大教授小田三二男。京都帝大教授小田深澤福一郎。朝鮮金井鑛山吉郎。商工省山口孝次郎。東京帝大教授小田川義明。東京帝大臣。二木權相。若槻總理。岡田海軍大臣。永井松三大將。陸軍次官。柳川中將。軍務局長。小磯中將。軍事課長。永田大佐。參謀本部。建川少將。軍務局長。阿部中將。教育總監部。荒木中將。軍務局長。小畑少將。陸軍省。梅津少將。軍務局長。磯谷少將。參謀本部。今井大佐。軍務局。岡村大佐。軍務局。山下大佐。軍務局。永田大佐。軍務局。

聖駕六日發東京

自橫須賀乘艦幸鹿兒島

親統陸軍大操

東京五日電。陸軍特別大演習。既決定南九州。業已九州精銳行之。聖駕六日。發東京。前後十六日間。行幸統我。即自佐賀縣。乘御艦此花。臣僚八千人。午明日中。更由宮崎外相。換乘時雨後。國防首相。以下各國務大臣。二木權相。若槻總理。岡田海軍大臣。永井松三大將。陸軍次官。柳川中將。軍務局長。小磯中將。軍事課長。永田大佐。軍務局。岡村大佐。軍務局。山下大佐。軍務局。永田大佐。軍務局。

觀菊御會

中外臣僚

八千名沐恩

東京五日電。宮中秋季御觀菊會。五日開於新宿御苑。聖駕行幸。沐取軍樂訓令內容說明。今明日中。更由宮內外相。換乘時雨後。國防首相。以下各國務大臣。二木權相。若槻總理。岡田海軍大臣。永井松三大將。陸軍次官。柳川中將。軍務局長。小磯中將。軍事課長。永田大佐。軍務局。岡村大佐。軍務局。山下大佐。軍務局。永田大佐。軍務局。

軍縮會議訓令

今明日中正式面交

全權等訂來十六日首途

東京五日電。海軍軍縮會議帝國主席全權。正式決定永野大將。四日午後五時十五分。出席海相官邸非公式軍事參議官會。聽取軍縮訓令內容說明。今明日中。更由宮內外相。換乘時雨後。國防首相。以下各國務大臣。二木權相。若槻總理。岡田海軍大臣。永井松三大將。陸軍次官。柳川中將。軍務局長。小磯中將。軍事課長。永田大佐。軍務局。岡村大佐。軍務局。山下大佐。軍務局。永田大佐。軍務局。

內臺樟腦

技術者協議會

有研究發表

內臺樟腦技術者協議會。六。海軍技師藤原鐐藏。前二十圓。現五萬株。鐵納方法。本月末。每株鐵五圓。明年三月二十五日正。五日午前十時。開於專賣局會議室。出席者內地專賣局長。川越販賣課長。報告昨年度營業。及役員會決議事項。一。戶別訪問。甲。得以同時訪問之選舉人。乙。訪問時間。各依電話。自出至午後十時。

二。選舉運動及勞務者。各佩指定徽章。

三。頒與文書。圖畫之際。不可張氣勢行儀。

四。爲選舉運動。不揭示受記念日。因即來十一日。臺灣軍第一班十名。二班十一名。於三朝八時許。由高雄著。經青木水產試驗支場。在士林庫。開月例保甲會議。參會者有保甲役員百二十名。

本日會合行事

▲日本鑛業大會。午後二時。續開於臺灣會館。

▲樟腦技術者協議會。續開於專賣局。

東石產米改善協會

四日開創立總會

事業計畫乃豫算可決

東石郡。產米改良。昨能奮。余其慶兩氏。東石庄。並非產米地。然米質優良。布袋庄。鹿草庄。白井房吉氏。同向上。計畫。增收支援第。滿場一致可決。繼即監督官。州二宅技師訓辭。然後來賓及各支會長訓辭。至正午閉會。一同開酌月旅亭餐會。

技藝學校生徒

見學聯隊

臺北愛國女子高等技藝學校。生徒。去五日午前九時。由驛員率到步兵第一聯隊。開陸上競技大會。午前九時三十分。燃放煙火。選手集合。國旗揭揚。名譽職長。訓示一場。由鈴木大尉說明。見學要旨。受領員。來十六日發東京。託西比利亞。十二月一日到倫敦。至少要二。四日間靜養。而後準備。二日起開會。出席不能。決定路間。通六英國政府。英皮一是。經決照現狀維持。最後山下行政主任起。此後如有不照規定辦理。仍定從嚴處分。

臺南理髮組

二日總會

臺南理髮業組合總會。以去二日午後一時。開於臺南警察署樓上。組合員出席者。約七十名。開會後組員中。有以理髮料金。分等級。不能統一。並營業理髮業者。以電氣燙髮不另取資兩事。欲協定以後行止。結局意見紛々。英皮一是。經決照現狀維持。最後山下行政主任起。此後如有不照規定辦理。仍定從嚴處分。定路間。通六英國政府。

內審六回總會

首在諮問

文教刷新

東京五日電。內閣審議會第六回總會。五日午前十時。開於首相官邸。岡田會長。以下全委員。各閣僚（川島。望月兩相缺）幹事等出席。先由岡田首相附議文。教刷新所關諸問第一號。吉田長官。說明諸問理由。

富田委員。問中央地方教育改善問題。與財政問題。深有關係本諮問。

中園時局。稱種似難。依然無誠意。用世傳統的。以夷征夷政策。日華提攜。永遠難成。國民者。又歐假り國之動向。本國民。各自用意。然重認識於情勢。我國連盟。小文教。

松岡文部。答。

國防問題

要認眞打算

川島陸相重申談

川島陸相。五日午前九時。

步一聯隊

軍旗祭

延來廿七日

訂來七日。值臺灣步兵第一聯隊第二十八回軍旗拜。或俄既已編成組織。而查內容。充實之時代。我國國防問題。不認眞打算。步々選奏。國體明徵。陸軍部內調查機關。務早實現。文部省設教學刷新評議會。提由陸軍。任命幹事一名。委員三名。昨晚已由內閣通知。如余所求。軍務局長。或調查部長。求一爲幹事。次官亦爲委員一人。參謀本部。教育總監部。亦各選任一人。此機關與內閣調查局操作。國體明徵信有倘當效果。陸軍今後敎育總監部之實也云々。

製鹽會社

開役員會

議增資可決

臺灣製鹽會社。爲開拓北門郡七股庄鹽田。自前布局之議。以事關重大。待堀社長來臺。以決其可否。去四日朝十時。於臺南公會堂上。開役員會。由堀社長。及重役會諸。由堀社長。及黃欣。中辻。大津山諸重役臨席。就新一期出開設費。其他一般。小田課長。及總務課長。出席。計五十九名。時間。先由中郎守。小田庶務課長。及總務課長